

「ラストガード」 標準塗装仕様書

下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧洗浄で汚れ、油脂分、浮き膜、塩分を除去して下さい ・ 完全に乾燥した状態にして下さい ・ 錆の塊や黒皮がある場合はブラストなどで下地の錆が出るまで除去して下さい ・ 光沢のある塗膜が残っている場合はサンドブラストなどで目荒らしして下さい 																				
攪拌	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手動又は電動攪拌機を使用して低スピード攪拌して下さい ・ 底から完全に均等になるまで攪拌を続けて下さい 																				
可使用時間	<p>4 時間（気温 21℃ ・ 湿度 60%）</p> <p>開封後はなるべく使い切り、残った場合は完全に密閉して下さい</p>																				
ラストガード 塗装	<p>< 刷毛/ローラー塗装 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛/ローラーで塗装する場合は、常にウェットの状態を保ち、上下左右交互に動かしてクロスを描くように塗装し、十分な塗布量を確保して下さい ・ 塗装完了後は刷毛及びローラーを処分して下さい <p>< スプレー塗装 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スプレー塗装の場合は低スピードで塗装し、十分な塗布量を確保して下さい ・ 塗装間隔があく場合、及び塗装完了後はスプレー機を溶剤で洗浄して下さい 																				
乾燥時間	<p>指触：2 時間（気温 21℃ の場合） 完全硬化：30 日</p> <p>ラストガード再塗装：指触後 1～2 時間以内（注意：気温と湿度により異なります）</p> <p>トップコート塗装：4 時間以上 14 日以内</p>																				
膜厚	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ドライ膜厚</th> <th>塗布量</th> <th>塗布面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>錆のない鉄板、プライマーとして：</td> <td>65 μ</td> <td>140 g / m²</td> <td>150 m² / 缶</td> </tr> <tr> <td>錆のある鉄板・木材：</td> <td>100 μ</td> <td>230 g / m²</td> <td>90 m² / 缶</td> </tr> <tr> <td>コンクリート・多孔性下地：</td> <td>125 μ</td> <td>300 g / m²</td> <td>70 m² / 缶</td> </tr> <tr> <td>橋梁、封鎖材・補強材として：</td> <td>200 μ (2 回塗り)</td> <td>460 g / m²</td> <td>45 m² / 缶</td> </tr> </tbody> </table>		ドライ膜厚	塗布量	塗布面積	錆のない鉄板、プライマーとして：	65 μ	140 g / m ²	150 m ² / 缶	錆のある鉄板・木材：	100 μ	230 g / m ²	90 m ² / 缶	コンクリート・多孔性下地：	125 μ	300 g / m ²	70 m ² / 缶	橋梁、封鎖材・補強材として：	200 μ (2 回塗り)	460 g / m ²	45 m ² / 缶
	ドライ膜厚	塗布量	塗布面積																		
錆のない鉄板、プライマーとして：	65 μ	140 g / m ²	150 m ² / 缶																		
錆のある鉄板・木材：	100 μ	230 g / m ²	90 m ² / 缶																		
コンクリート・多孔性下地：	125 μ	300 g / m ²	70 m ² / 缶																		
橋梁、封鎖材・補強材として：	200 μ (2 回塗り)	460 g / m ²	45 m ² / 缶																		